

5年「自然の中で生きる」

	書名	著者名	出版社	内容
1	くちばし どれが一番りっぱ？	ビアンキ 文 藪内正幸 絵 田中友子 訳	福音館書店	色々な鳥が自分の「くちばし」を自慢し合う。鳥の「くちばし」って、餌を捕まえる為に、こんなに不思議でおもしろい。最後には、あっと驚く結末が…。
2	はじめてのかり	吉田遠志 絵と文	福武書店	母親ライオンが昼寝中、3匹の若いライオンが、初めての狩りに出かけた。獲物狩りに、果敢に挑戦するが、簡単には獲物はとれない。出かけた先で、ライオンたちは色々なことを学ぶ。
3	おおきなあれ うみがめ	富田京一 監修	フレーベル館	世界中の暖かい地域に生息しており、日本沿岸でもおなじみの動物、アオウミガメ。砂浜に産み落とされた卵から孵化し、成長する過程を追い、その生態を紹介。生命が巡る素晴らしさをいきいきとした写真で見せる絵本。
4	くぬぎの木いっ ぽん	近藤薫美子	ブックローン出版	くぬぎの木が1本。それが切られることになった。最初に知ったのは1匹のアリ。た、大変だ！くぬぎの木全体にパニックが走る。この木1本に何と多くの生き物が関わっていることか。ユーモラスな、けれど胸に衝撃を与える本。
5	道ばたの四季	たかはしきよし 絵 岡部牧夫 文	福音館書店	原っぱをぬけて、田畑をよこぎり、雑木林をぬけて、小さな水辺に立ち寄り……虫や鳥、畑の作物や道ばたの草のひとつひとつに名前が添えられています。幼い子の目の高さから見た身近な自然が、丁寧に描きこまれています。たちどまってごらん。しゃがんでごらん。きつとたくさんのしぜんがみえてくるから。